

刊夕日七十月六



定価一冊五銭一ヶ月一元  
 発行所 常磐毎日新聞社  
 印刷所 常磐毎日新聞印刷株式会社

### 愛児の家庭学習

平第二小學校長 千葉 右近（談）

〔三〕

次に深め且つ明かにする  
 勉強と正しく速く出来る事  
 にする勉強の何れを選ぶか  
 といふ事について考へて見  
 ると、私は先づ正しく速く  
 出来る勉強を本體としてし  
 て、時間があつたならば深  
 め且つ明かにする勉強をさ  
 せる事にしたと思ふ。

例へば讀方の勉強をする場  
 合に、始めから文を深く明  
 かに知らうとして参考書に  
 書いてある文の内容表解等  
 を見て覚えて、それで得意  
 になつて學校へ來るといふ  
 様な事は教育上誠によろし  
 くない事である。

四 家庭学習のさせ方  
 では右に述べた様な勉強  
 を實際させる様に兒童にと  
 んな態度をとらせるかとい  
 ふと、先づ勉強する前に  
 「今日は何を、どの程度ま  
 でやらうか」といふ「学習  
 の目的」をはつきりとつか  
 ませる事である。次は其の  
 目的を果すためには「どう  
 したらよいか」を考へさせ  
 て、それから「實地にやら  
 せ」最後にやつた後に「反  
 省」してみるといふ態度で  
 ある。之は一つの學を學ぶ  
 場合だけでなく、一切の生  
 活をする場合の基本的訓練  
 によるのである。

從つて、家庭の勉強を正  
 しくさせるには、その日  
 の勉強の目的を書く小  
 黑板でもあつて、それに記  
 入せしめて、それによつて  
 勉強が行はれる様にする必  
 要も生じて來るのである。

五、結 論  
 要するに家庭学習は長い  
 時間を必要としない、尋常  
 一、二年であるならば、皆  
 で三十分間位、三四年にな  
 ると約一時間、五六年にな  
 ると一時間半位のところが  
 程度かと思ふ。只この時間  
 を有効に利用せしめるとこ  
 ろに家庭学習が學校學習よ  
 りも教育的にみて根本的意  
 味をもつのである。

初夏の松ヶ岡  
 さみだれ上り 浅みどり  
 衣更えした 遅咲きつゝじ  
 赤い手からで 松ヶ岡  
 招きますぞへ 春木亭  
 入浴のサービスもありません  
 日の丸辨當御持参をも歓迎  
 松ヶ岡公園 春木亭  
 電話五一八番

整形外科  
 レントゲン科  
 醫學士 大河内 一郎  
 柔道 大河内 寅男  
 整復師 大河内 寅男  
 平町橋樋小路四(電五八八)  
 舊稱 大河内接骨院  
 大河内整形醫院

ヒヨケと雨具  
 敷島ヒヨケ如何にと人とおぼ  

日	除	雨具
店舗用、事務所用	御座敷用、其ノ他	トラツク用、各種雨衣
		作業用、馬車用シート

 朝日夕日に便利なるかな  
 除日・覆雨諸・幕天山登  
 敷島トテ商店  
 平町六丁目

婦人科 院長 木村寅次郎  
 外科 醫學博士 内木宗八  
 藥局 藥劑士 大岩俊雄  
 平町新川町十九  
 病室完備 入院隨意  
 木村病院  
 電話一六四番

石炭 平驛前  
 コークス 阿部石炭店  
 豆炭 電話三十七番

喜多流 謠曲と仕舞の  
 稽古をお奨め致します  
 平町田町六九  
 喜多流 仕舞白土會  
 入會隨時 電話一二七番

難波陸  
 內科一般  
 醫學博士  
 看護婦募集  
 平町大町新川端  
 電話五〇二

磐城セメント會社特約店  
 久全屋商店  
 磐城平町五丁目 電話九九九  
 □良品廉賣に勝る商略なし  
 □確實敏捷は久の生命なり



# 公園地内暗がり

## 密行中に不審な男

### 強窃盗の前科六犯

#### 口を喊して語らぬ

昨十六日夜九時半頃平野署菊地部長刑事が平町松ヶ岡公園地内暗がり密行中舉動不審の男を逮捕したが右は去る五月中千葉刑務所を出所した強窃盗前科六犯湯本町字水野谷生最上良平(四〇)と判明、他は口を緘して語らず餘罪ある見込で追求中

大神宮月次祭 平町各小學校は今十七日の皇大神宮月次祭に際しそれぞれ學級講話があつた

保線作業映畫 平保線區では二十三、四兩日午前十時から磐城炭礦淺野記念會館で保線作業の活動寫眞を一般に公開する

町二丁目子自動車部運轉手原田茂(三〇)の運轉する貸切自動車に刎飛ばされ右足大腿部に全治一ヶ月の重傷を負つた

# 鹽屋崎沖合で

## 鯉千五百尾

### 不漁悲觀の折柄

#### 俄然各濱が活況

江名町大字中之作鯉船福田丸は鹽屋崎沖合百八十湊附近で鯉千五百尾を漁獲十六日小名濱港に入港水揚げしたが、最近石城沖で鯉漁の不漁を歎れてゐた折柄此の鯉漁獲報知に果然活氣を呈してゐるが例年と海流の關係が相違してゐるので永續するか否か疑問視されてゐる

競演の夕は来る廿三日午後六時から平町聚樂館で行はれるが出演者は左の通り

△浪曲、木村重行、天中軒月子、津田清美、浪花亭奴 △漫才橋家ベテ子同トネル、秋野華枝、笑福亭茶福呂 △舞踊、白茂江、初江、重子、玉子、富助

刎飛され重傷 平町北目町寒風澤國次妻ミハル(三七)さんは昨十六日午前十一時半頃湯本町字傾城地内國道を通行中疾走し来た平

# 觀世音の

## 後援競演會

日立木護國觀世音建設後援會の浪曲漫才舞踊各流花形

競演の夕は来る廿三日午後六時から平町聚樂館で行はれるが出演者は左の通り

△浪曲、木村重行、天中軒月子、津田清美、浪花亭奴 △漫才橋家ベテ子同トネル、秋野華枝、笑福亭茶福呂 △舞踊、白茂江、初江、重子、玉子、富助

# 米價は躍る

## 又ゾロけふから

### 値上げ發表さる

#### 品不足で買出し悩み

平地方の米價は全國的な品不足から共販毎に相場は天井知らずの奔騰を續けて居るが殊に飯米需要地の平町の米穀商は米の買出しに悩んだ結果去る三日値上した許りの市内小賣相場を又ゾロ

# 川干や夜振りは

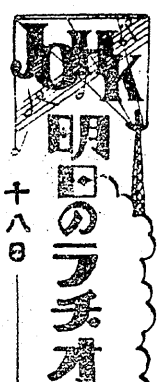
## 罰金を取られる

### 好漁家に取つて注意を要すると平署が語る

夏季に入つて川魚漁獲が行はれて来た昨今本年一月からは改正された漁業取締法規則に依ると河川、田圃等で時々見かける川干とか夜振(俗稱夜ヅキ)は違反になつて居り一寸した不注意から罰金二十圓に處されるとお

# 東京修學旅行

本郡第二區小名濱方部十一小學校児童千五百餘名の東京方面修學旅行は来る二十八、九の兩日行はれる由



明日のラジオ 十八日 天気予報

# 今晚の部

後六、〇〇 連續漫畫劇「忠子のいたづら日記」チユウ、座

後六、三〇 基礎英語講座 鹽谷榮

後七、三〇 青年の夕講演「力強い日本産業」木村増太郎「日本を中心とする國際經濟」寺尾進

後八、一〇 詩吟 磯部賀堂 伊藤長四郎 鈴木凱

# 明日の部

後八、二〇 新講談「高野長英を語る」伊藤痴遊

後九、一〇 今日の漫談 第一日 ラッキー、セブ

後九、三〇 時報 ニュウ

明日の話題 氣象通

番組預告

前六、三〇 基礎英語講座 丸山順太郎

# 磐女で海人草

磐女は今十七日全校生に蛔虫驅除の海人草を服用せしめた

# 裁判一束

△去る四日午前十時頃植田町本町通で昭和人給會社職工福田正作を恐喝腕時計を

# 丹野榮三郎氏逝く

## 葬儀は二十日青雲院に

平町二丁目丹野英三郎氏は過般來病氣静養中の處昨十六日午後八時遂に永眠された、同氏は平町一流の雜貨商大一屋主人とし殊に謹直温良の姿性は内外の信用篤く輿望を擔つて町會議員に擧げられ平町の重大事件であつた大瀧發電所問題の際の如きは寢食を忘れて大奮闘した、今では家業を養子根本善吉氏に譲り二町目に於ける老御處として重きを爲し子女は何れも明敏の質夫々良縁を得て家運益々隆

# 平職業紹介所報告

△女中 四十才迄 月給四一八圓

△旋網漁業 十七、四十歳迄 月給廿五圓

△材木運搬夫 三十五才迄 日給一圓五十錢

△農業 四十才迄 月給十

前七、〇一 朝の修養 波羅密 矢吹慶輝

前一〇、三〇 家庭講座 子供たちが作つた詩 百田宗治(秋田)秋田地方に於ける家屋の建て方高敷良二

後〇、〇五 管絃樂 シヤコンヌ他 日響 深井吏郎指揮

後〇、三五 國民歌謡 朝永田絃次郎

後二、〇〇 小學生尋問の時間ラヂオスケッチ「兵營生活の一日」玉川學園コードモ會

後二、四〇 小學生尋問の時間ラヂオスケッチ「軍艦生活の一日」東京學校放送研究會

後六、〇〇 お話 林子平

阿刀田二高校長

後六、二五 趣味講座 日食の傳説と迷信 野尻抱影

後七、三〇 講演 明十九日の日食につて 田中館愛橋(女滿別より中繼)旭川)

後八、〇〇 俚諺 岡本新内 秋田縣土崎港町藝妓連

後八、二五 短歌朗詠 さみだれ集 光田作治

後八、三五 新日本音樂「うたて鼓」瀬音宮城道雄社中

後八、五五 ハープ獨奏と二重奏 加藤敬子 泰同

後九、一〇 今日の漫談 ラッキー、セブン

# 宗正らひた

山崎合名會社 電話一〇番

# 芳醇!

二三圓 回 職を求めの方

△精米夫 二十四才 尋卒

△荷上人夫 卅二才 尋四

△事務員 卅三才 乙工卒

# 繞る瓦解の設

(著上秋上)

悟道軒圓玉(作)  
丸尾至陽(費)



一四九 本心を打開く  
お花の伊織は前にあつた盃  
を取り

伊「先生、わたしは男にな  
つてあなたについて劍術を  
ならひ、またお玉ヶ池の磯  
先生について柔術をならつ  
たについてはお話し申すこ  
とがあるんですよ」

春造これを聞いてニッコ  
リ笑ひ

春「思ふ男の敵討の助太刀  
でもするか」

花「イ、エそんなわけでは  
ないんですよ、わたしの實  
父は公儀のお臺所役人の土  
井彦兵衛と申しまして、永  
いこと徳川家の御厄介にな  
つて居りましたその御恩報  
じのためわたしは男とな  
つて徳川様のために命をす  
て、御奉公をしようと思ひ  
それについてあなたのお弟  
子とつてな劍術をならつて  
あるんですよ」

春「それはえらいな、徳川  
の直參でありながら主家の  
倒れるのをよそに見て薩長  
二藩の狗となつて主家に弓  
を引く大名もある、その中  
に貴様は女でありながら幕  
府の爲めにつくさむとは立  
派な魂を有つて居る、俺  
も貴様を門人にした以上

話した事として磯も特別に稽  
古をつける、お花の伊織は  
一心に學び劍道も柔道もそ  
の奥儀を握る程になつた、  
ところで慶應の四年、いよ  
／＼江戸は物さはがしくな  
り、官軍は徳川慶喜を討つ  
べしと東海道、東山道より  
押しよせる、この時に幕臣  
勝安房は西郷南洲先生に哀  
訴して江戸討入りの延期を

は人の五人や十人斬れる程  
の腕にはしてやりたい、よ  
く學べ」  
といつたが、これから春造  
は一層氣を入れておしへる  
又桃井より磯にもこの事を



乞ひその後江戸城を明け渡  
して市民を救つたが慶喜公  
は水戸に参つた勤慎いたす  
官軍は池上本門寺に本營を  
かまへて幕臣の舉動を視察  
する、しかし官軍は奥州に  
行かねばならぬ、それは奥  
州の調藩が聯合して官軍に  
あたるとの警報がある、時  
に旗本八萬騎は江戸城明け  
渡し以來累代の家祿にはな  
れて大いに不安を感じたま  
た官軍の兵卒は江戸市中を  
我物顔に往來してみやさん  
／＼お馬の目先ちら／＼す

に連署血判して官軍の總督  
府に差出したこの時集まつ  
た者六十七人、先づ主立ち  
し者をあげると天野八郎、  
伴門五郎、本多敏三郎、須  
永於菟之輔、青木平九郎、  
岡本數馬、淺田剛造、澁澤  
成一郎、これは明治時代實  
業家の權威澁澤喜作氏です  
その他、阿部杖策、みなし  
たたましひの所有主ばかり  
利益のために節をかへるや  
うな人物ではない、その後  
淺草本願寺に會合したがこ  
の時には百六百人あつたつ  
た、がこの中にお花の土井  
伊織も居ります、から人数  
がふえると何んとか團體に  
名義をつけねばならぬそこ  
で阿部杖策氏の發議で彰義  
隊と命名して頭取に澁澤成  
一郎副頭取には天野八郎こ  
の天野は上州甘樂郡磐戸村  
の出身、元來農ですが劍術  
に達し又學問もあり、それ

に強膽かういふ人物として鋤  
鎌を取つて時勢をよそにみ  
てはゐられぬ、それで江戸  
に出て來て志士と交はり天  
野八郎と名乗つた、元來八  
郎の苗字は大井田といふ、  
それを何んで天野と變へた  
かといふに、巳の生れたと  
ころが磐戸村で天野磐戸の  
故事にちなみそこで天野と  
したものであらうとの説も  
ある、これで彰義隊が成り  
立ち、その後本願寺の屯所  
を引きはらひ上野に入つた  
もつとも野には宮様のお  
かたはら近く奉行いたす覺  
王院義觀といふ僧がこの彰  
義隊を上野に招き、山内の  
寺院を宿所にあつ、食料一切  
をまかした、何で覺王院  
がこんなことをしたといし  
たといふに官軍を相手に戦  
うためです、おそろしい坊  
さんもあるもの

## 計時



高橋時計店

平町二丁目

・小役員募集委細面談。

北川外科

平町新川町

電話四六四

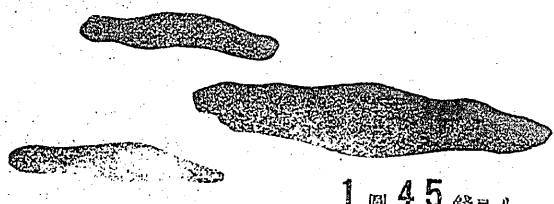
磐城高等女學校

### 夏の新制服賣出

輝く碧空の下に颯爽と

なかやの制服で!

型・生地・裁縫細かい  
点にまで充分吟味して  
ございます。



1圓45錢ヨリ

なかや洋服店 平三・電203

誰にも愧しいと思ひませぬ

### 絶対保證できる性器具

「衛生サツク」

壹號品 一打 壹圓也(送料共)  
貳號品 〃 六拾錢也(〃)  
特製品 〃 四拾錢也(〃)

お求めの御方は平局内私書函第三十四號宛爲替  
封入申込みますと直ちに嚴重荷造の上個人名義  
にて送附いたします。(切手代用は「割増」  
但し代金引換はお断りいたします)

特別奉仕  
壹號品、貳號品は二打以上。特製品は三打以  
上御買上の方は定額一割引いたします

●性病豫防 ●産兒調節

平町南町五二一

## 根本婦人科醫院

(手術室完備  
入院隨時)

根本 莊次郎  
根本 貞雄  
電話三四番

宛名 平郵私書局第三十四号

谷商會衛生部